

どっこい道中記

津守神社に到着！

大阪府大阪市西成区津守三丁目

主祭神：天照皇大神・鵜荷大神
大歳大神・住吉大神・綿津見大神



つもり
津守神社だ！





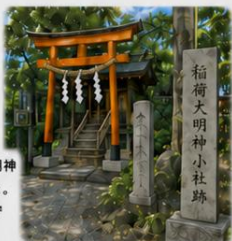
元禄11年(1698年)、幕府の許可を受けて津守新田の開発が始まりました。新田開発を進めたのは、京都の横井源左衛門と金屋源兵衛の兩名です。

二人は、工事の安全と成功、そして五穀豊穡を祈るために、神さまをお祀りしました。

豆知識

当初は
稲荷大明神小社
として創祀

津守神社は、最初「稲荷大明神小社」として創建されました。それが発展して、現在の津守神社へとつながっています。



どっこい道中記

津守神社編



災害を乗り越え、現在地へ造営

最初は新田の北端の「宮屋敷」に鎮座

その後、現在の中央の地へ移され、造営された

長い歴史の中で、大切に守り継がれてきたんだね。





この津守神社の
主祭神は
五柱の神さまだよ

五柱の神さまが
祀られているから
『五社神社』なんだね



津守の人たち
みんなに大切に
されてきたんだ

五柱の神さま

- ・天照皇大神
(あまてらすすめおおかみ)
- ・稲荷大神
(いなりのおおかみ)
- ・大歳大神
(おおとしのおおかみ)
- ・住吉大神
(すみよしのおおかみ)
- ・綿津見大神
(わたつみのおおかみ)

この五柱の神さまを
まとめて『五柱大明神』と
呼ばれてきました。
※地域や時代により表記や順序が
異なる場合があります。



『五社大明神』って
呼ばれてたなんて
すごいね！



へえ〜！
つもりじんしゃ
津守神社に
なったんだ！



明治四年に
津守神社と
改称されたんだ



明治五年には村社、
明治四十年には
神饌幣帛料供進神社に
なったんだよ

津守神社の変遷

明治4年(1871)
つもりじんしゃ
津守神社と改称

明治5年(1872)
そんしゃ れつかく
村社に列格

明治40年(1907)
しんせんへいはくりょうぎょうしん
神饌幣帛料供進神社
に指定

時代の中で、津守神社は
地域の人々に大切にされ、
信仰も厚くなっていっただね。



そんなに
すごい神社に
なってるんだね！

昭和九年九月二十一日、
室戸台風で神殿などが
大きく被害を受けました。



神社の歴史は、災害と
復興の歴史でもあります。
氏子の力によって祭記は
受け継がれてきたのです。



でも氏子さんたちの力で
本殿・拝殿・社務所まで
復興したんだ！

白山先生いらして
いたんですか？





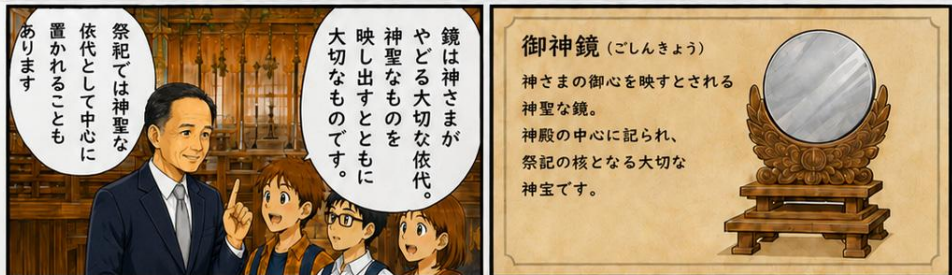
こちらが
御神鏡です。
白山先生にご説明
いただきます。

すごい…



白山家創建の
神社でしたよね！

御神鏡は、
神さまの御心を
映すからとして
配られています。



御神鏡 (ごしんきょう)

神さまの御心を映すとされる
神聖な鏡。
神殿の中心に祀られ、
祭記の核となる大切な
神宝です。



鏡は神さまが
やどる大切な依代。
神聖なものを
映し出すとともに
大切なものです。

祭記では神聖な
依代として中心に
置かれることも
あります



すごい、
すごいなあ…
見えないけど
見守ってくださって
いるんですね

神さまが
いつも私たちを
見守ってください
いるということだす

神さまが
いらっしやる中心が
この鏡なんです

この内陣の中央に
おまつりされています









